

白山の火山活動解説資料（令和6年11月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

4日に山頂付近のやや深部を震源とするマグニチュード4.2の地震が発生した後、一時的に地震活動の高まりが認められました。その後、地震回数は少ない状態で経過し、火山活動の活発化を示す変化は認められていません。

噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図1）

白峰監視カメラ（白山山頂の西約12km）による観測では、山頂部に噴気は認められません。

・ 地震や微動の発生状況（図3～図5）

4日の19時21分に山頂付近のやや深部を震源とするマグニチュード4.2の地震が発生し、岐阜県高山市で最大震度2を観測しました。その後、地震が増加し4日の地震回数は335回、5日は98回、6日は17回、7日は52回、8日は22回観測しています。9日以降は日回数0～7回と減少し、地震活動は低調に経過しています。

白山では、これまでも一時的な地震の増加が時折発生しており、今回も同様の活動とみています。火山活動の活発化を示す山頂付近ごく浅部の地震や、火山性微動は観測されていません。



図1 白山 山頂部の状況
(11月3日 白峰監視カメラによる)

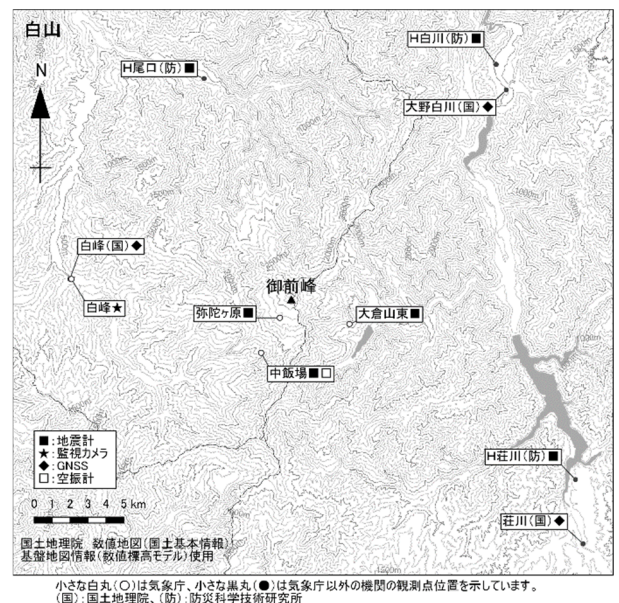


図2 白山 観測点配置図

この火山活動解説資料は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

次回の火山活動解説資料（令和6年12月分）は令和7年1月14日に発表する予定です。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

地震回数の計測基準：弥陀ヶ原 上下動振幅 $1.0 \mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間 1.5 秒以内
ただし、欠測等の場合は代替点（中飯場、大倉山東）により計数しています。

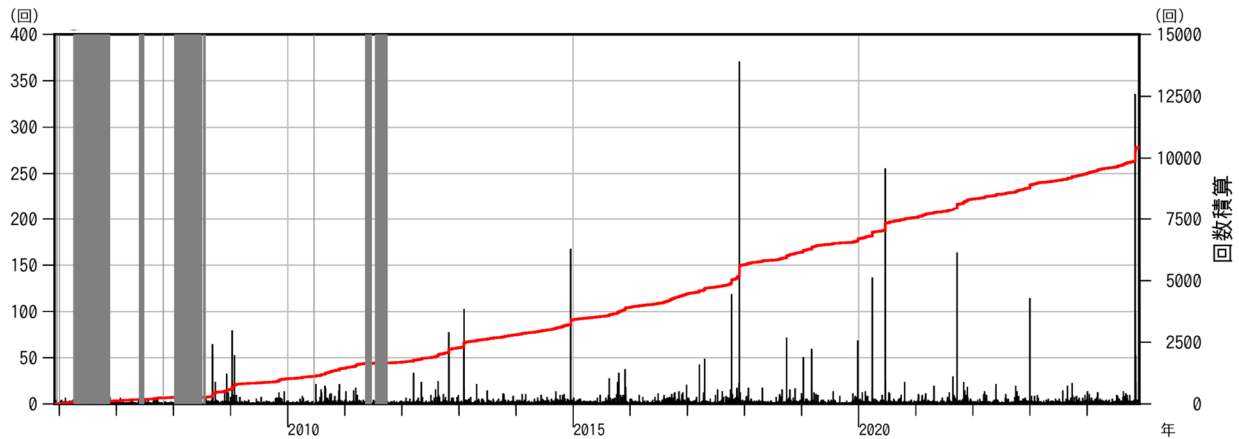


図3 白山 日別地震回数と積算回数（2005年12月1日～2024年11月30日）

図の灰色部分は機器障害による欠測期間。

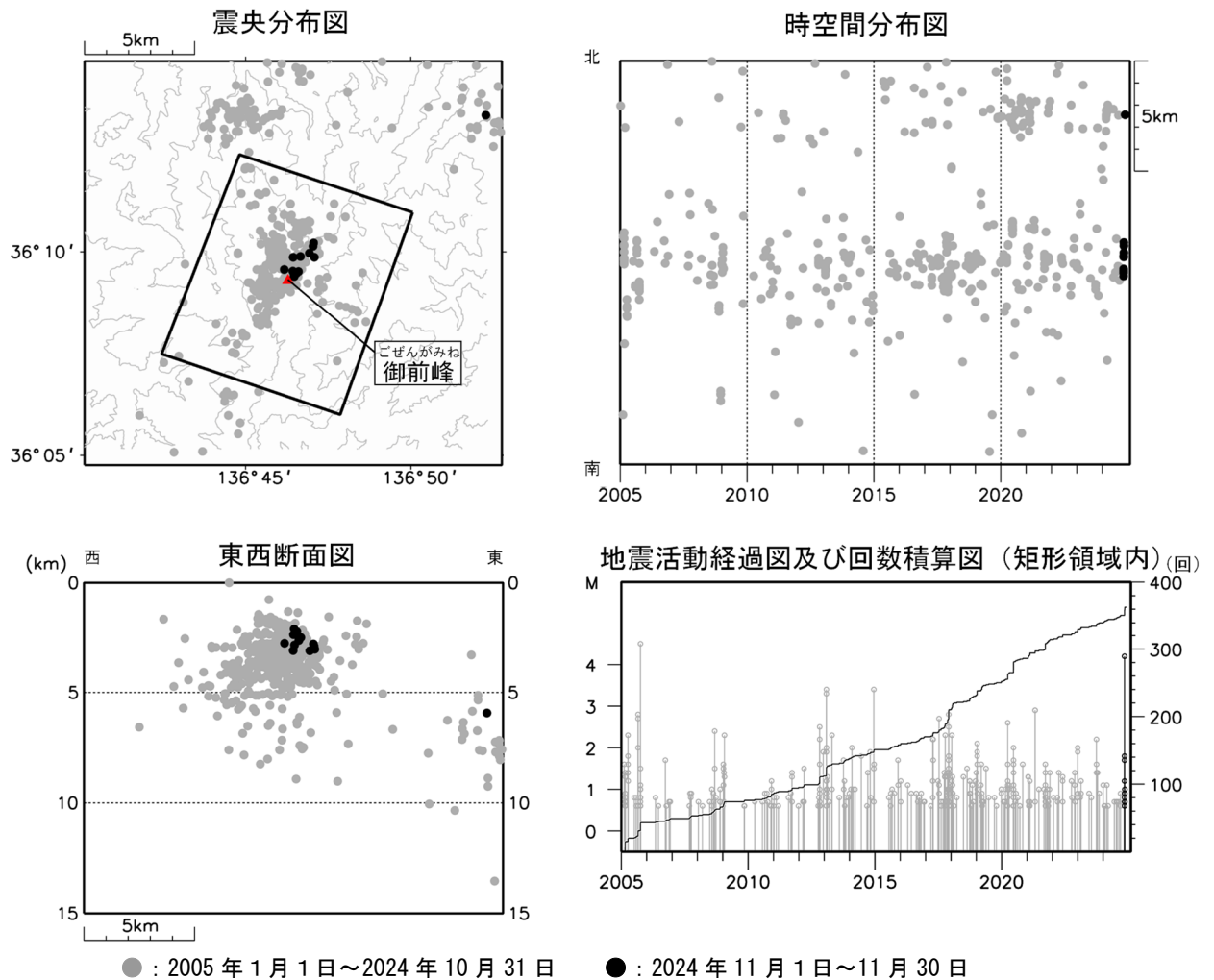


図4 白山 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2005年1月1日～2024年11月30日）

広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。なお、2020年9月以降については、地震観測点の標高を考慮する等、震源決定の手法を変更しております。

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。M0.6以上の地震を表示しています。

図中の震源要素は一部暫定値を含んでおり、後日変更することがあります。

- ・ 4日に増加した地震の震源は、山頂付近の深さ2km前後に分布し、これまでも地震活動がみられている領域でした。

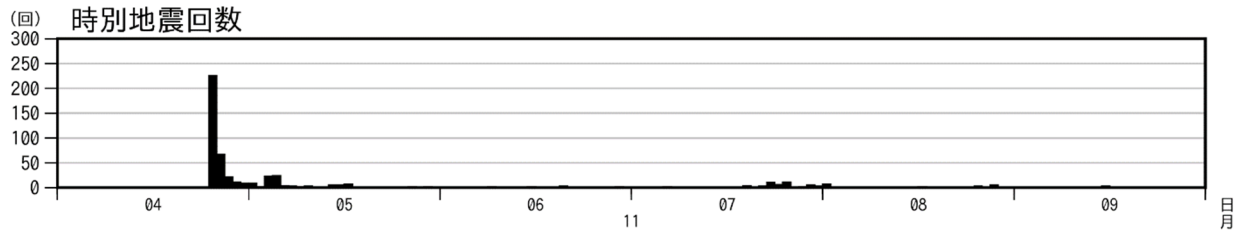


図5 白山 山頂付近のやや深部を震源とする地震の時別回数（11月4日～9日）

- ・ 11月4日の19時21分に山頂付近のやや深部を震源とするマグニチュード4.2の地震が発生し、その後、地震回数の一時的な増加がみられ、4日の19時台には225回観測されました。
- ・ 5日の04時以降、特別地震回数は0～11回まで減少しています。